



クラフトビール祭り!

9月20日、多目的活動センターあつまんべで、道内外から6社が集結したクラフトビール祭りが開催されました。会場にはフード店も出店し、多くの来場者で賑わいました。

第3回定例会のあらまし 2

町政を問う! 1人の議員が一般質問 ... 3

令和6年度各会計決算を認定 6

委員会活動 7

議会のうごき 8



令和7年

第3回

定例会

補正予算

- 令和7年度一般会計補正予算（第4・5号）
- 令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度病院事業会計補正予算（第1号）

条例

- 長万部町議会議員及び

令和7年第3回定例会は、9月11日から19日までの9日間の会期で開かれました。

【9月11日】

本幡町長から定例会開会にあたり挨拶が行われた後、条例の一部改正や補正予算等の審議をしました。

令和6年度決算は、議長及び議選監査委員を除く7名の委員で構成する決算審査特別委員会へ付託しました。

【9月19日】

一般質問に1人の議員が登壇し、町政に対しての所見を伺いました。

また、決算認定の採決などを行い、慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。

任命

長万部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

- 長万部町教育委員会委員の任命

報告

- 令和7年度に公表する健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- 放棄した債権の報告

その他

- 北海道町村議会議員公務災害補償組合規約の変更
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 議員派遣承認
- 所管事務調査及び閉会中の継続調査
- ※詳しい議案の内容は、10月号町広報に掲載されております。

議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



高橋 克英 議員

わがまちの防災について 4～5

議会議員研修会

10月9日、北斗市において渡島・檜山管内市町議会議員研修会が開催されました。

第一講演は「調査船が明らかにする道南沖スルメイカの来遊実態」と題し、北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場調査研究部研究職員の富山嶺氏より講演を受けました。

第二講演は「対話する議会・議員を目指して～S O U N Dカードを活用した住民との意見交換会、議員間討議～」と題し、青森大学社会学部コミュニティ創生コース教授の佐藤淳氏より講演を受けました。



— 高橋 克英 議員 —

わがまちの防災について

(町長) 防災出前講座を継続して実施し 段階的な避難訓練を実施する

高橋 7月30日にロシア・カムチャツカ半島沖で発生した、マグニチュード8.7の強い地震で太平洋地域の広範囲で津波警報が発表された。

当町でも防災ラジオなどで避難を促したところだが「長万部町津波避難計画」どおりには町民は避難できなかったのか。

町民が計画どおりに避難することはなかなか難しいと思う。今回の津波警報による避難で改善しなければならぬ点や課題があったと思うが、次の点についてお聞きする。

高齢者や障がい者など、避難行動要支援者の避難誘導が計画どおりにできたか。

一部の町道で車の渋滞が発生するなど、避難方法に問題はなかったか。

町民が防災への意識をより高める必要があると考えるが、今後どのような

に取り組むのか、町長の所信をお伺いする。

町長 高齢者や障がい者など避難行動要支援者の避難誘導については、

個別避難計画を策定している大浜地区では、はまなすシルバーハウジング居住者の避難誘導を生活援助員が行ったが、策定が進んでいない他の地区では把握できていない。

要支援者の避難誘導等を迅速かつ適切に実施するためには、住民の協力が不可欠である。引き続き、民生委員、町内会などと連携し、要支援者名簿、個別避難計画の継続的な整備を図っていく。

車両による避難については、一部の道路で渋滞が発生したことを確認している。避難は徒歩を基本としているが、道路が渋滞することで緊急車両への影響も考えられることから、渋滞情報を確認したときは、警察との連

携により町職員を誘導員として派遣するなど、今後予想される様々な状況を見極めて対応を検討していく。

町民の防災意識の向上については、今回の対応を通じて得た様々な教訓を取り入れた「防災出前講座」を継続して実施するとともに、地域レベルでの実情に合わせた段階的な避難訓練を実施して、防災意識の高揚と災害に強いまちづくりに取り組んでいく。

高橋 避難行動要支援者の避難対策について、個別避難計画の策定が進んでいない地区があるとのことだが、個人情報保護法が問題となっているのか。

危機対策室長 個別避難計画の作成については、災害時要配慮者の中から避難行動要支援者を精査し、本人の同意を得て作成することになっている。

作成には、対象者への説明と関係者に同意を求めることが必要であり、1人分の作成に約一週間を要する。

作成が進まない背景には、必要性の周知不足のほかに、避難支援実施者をどう確保するかが大きな問題となっている。避難支援実施者は災害発生時に仮に支援ができなくても、責任を負うものではないが、責任が重大と捉えてしまう方もおり、確保に苦労しているのが現状である。

今後については、対象者に対する丁寧な説明により、個別避難計画の作成に努めていく。

高橋 避難方法について、当町には避難困難地域はないことになっているが、海岸の近くの地域では、高台にある地域より恐怖感はかなりのものであると思う。低地地域の方を優先して、車で

避難を認めるのはどうか。

危機対策室長 避難方

法は、津波避難計画において徒歩を基本としているが、高齢者や障がい者等が長距離避難する場合、避難者が自力で避難できない場合、遠隔地の避難所に早急に避難する必要がある場合には、車両の使用を認めている。車両渋滞の未然防止と、避難者保護の観点から車両の使用を制限している。

低地地域全体を対象とすると相当数の台数が予想されることから、現在の考え方を周知したうえで、できる限り徒歩避難を推奨していく。

高橋 町民に対して普

段から津波だけではなく、防災全般に対して、より意識を高めさせることが大事だが、町だけでは対応仕切れない部分もあると思う。民間の資格である防災士の資格を持つ方が何名いるか把握してい

るか。

危機対策室長 防災士

については、町として名簿の管理はしていない。

日本防災士会に加盟している人員は7名であるが、個人情報等の制約等により名前等については確認できていない。

高橋 自立の発想と民

間パワーの活用による地域防災力向上のため、防災士の養成に取り組んでいるのか。

危機対策室長 防災士

の資格取得には、2日間の防災士養成研修と消防本部、赤十字社で救急救命士講習を受験し、防災士資格試験に合格する必要がある。

資格取得のためには、それぞれの日数と金銭的な負担を要することから、防災士の養成については今後検討していく。

高橋 答弁の中に地域

レベルでの実情に合わせた段階的な避難訓練の実

施とあるが、いつ、どこで起こるかわからない災害は、時も季節も選ばない。

この度の津波避難で得た教訓を生かし、他の災害にも生かせる避難訓練を全町民で年2回、暑い時期と寒い時期に必ず実施すべきと考える。それにより町民の災害への意識がより高まると思うが。

町長 7月30日に発生

したカムチャツカ半島沖を震源とする津波については、今一生懸命情報収集などをしているが、課題がものすごく多く見えてきている。

その課題を今、一つひとつ防災の関係者が拾って、次の段階にどういった形で手を打つか。それをやるためには今度その地域なり場所なり年代に合わせた出前講座、これを徹底してやった方が理解を得られるのではないか。

できるだけ防災関係者が出かけていき、その出前講座も年に何回か計画したい。

防災担当者も7月30日の避難の状況など、全てまとめて、それをひとつのマニュアルに生かせるような形で今作りだしている。

今後については、年2

回の全町避難訓練は理想であり実施はしたいが、現実的には難しいと思っている。そこで小規模ながら年に何回か出前講座という形で開催し、諸問題を解決したいと考えている。

先ずはそこからスタートしていきたいということでご理解いただきたい。



防災出前講座の様子

令和6年度各会計決算を認定

9月11日開会の第3回定例会において、令和6年度長万部町一般会計、各特別会計及び各企業会計の決算を審査をするため、議長と議会選出の監査委員を除く7名で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

休会中に審査した結果を9月19日の町議会定例会最終日に報告し、認定しました。

◎決算審査特別委員会 委員長 村川 毅 副委員長 高橋 克英

◆ 令和6年度一般・特別・企業会計決算状況 ◆

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		72億2,637万3千円	70億4,971万7千円	1億7,665万5千円
特別会計	後期高齢者医療	1億1,284万6千円	1億1,061万5千円	223万1千円
	国民健康保険	6億9,383万9千円	6億5,164万3千円	4,219万5千円
	介護保険	9億86万6千円	8億199万6千円	9,887万円
企業会計	ガ ス 事 業	収益的收入総額 1億1,889万2千円 資本的收入総額 7,288万1千円	収益的支出総額 1億2,995万円 資本的支出総額 7,875万2千円	
	水 道 事 業	収益的收入総額 2億2,461万7千円 資本的收入総額 2億2,419万1千円	収益的支出総額 1億8,873万3千円 資本的支出総額 2億5,036万1千円	
	公共下水道事業	収益的收入総額 3億493万1千円 資本的收入総額 8億1,152万5千円	収益的支出総額 3億6,937万1千円 資本的支出総額 7億8,542万2千円	
	病 院 事 業	収益的收入総額 7億255万5千円 資本的收入総額 1,035万9千円	収益的支出総額 7億7万7千円 資本的支出総額 2,847万6千円	

歳入、歳出差引額の不符合は、端数処理により生じたものである。

● 議員の出席簿 ●

令和7年7月～令和7年9月

会 議 名	開催日	橋本	辻	大谷	北川	高森	長崎	高橋	村川	柏倉
第3回定例会	9月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	9月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務常任委員会	7月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業建設常任委員会	9月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	9月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月17日	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議会広報編集特別委員会	7月17日	○	○	—	—	○	—	—	○	—
	9月19日	○	○	—	—	○	—	—	○	—

○（出席） ×（欠席） —（出席対象外）

委員会活動

産業建設常任委員会

9月8日

- ①商工観光振興
観光客入込数状況、合宿誘致事業、
あつまんべ利用状況、消費生活相談
等について調査
- ②土木事業
カマツオナイ橋修繕工事について調
査
- ③所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を
協議

議会広報編集特別委員会

7月17日

- ①議会だより第224号の編集

9月19日

- ①議会だより第225号の編集



総務常任委員会

7月1日

- ①防災事業（現地調査）
B & G財団「防災拠点の設置及び災
害時相互支援体制構築」事業につい
て調査



- ②町税収納対策
町税等徴収実績、滞納処分執行状況、
税目別町税等収納状況等について調
査
- ③所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を
協議

議会運営委員会

9月8日

- ①第3回定例会の会期及び日程、提出
される議案などの取扱い、第4回定
例会までの所管事務調査について協
議

9月17日

- ①第3回定例会の運営について協議

所管事務調査（委員会が受け持つ調査内容）

第4回定例会（12月）までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は、次のとおりです。

- | | | | |
|-------------|--------------------------|-------|-------|
| 《総務常任委員会》 | ・国保事業運営状況 | ・病院事業 | ・学校教育 |
| 《産業建設常任委員会》 | ・有害鳥獣対策 | ・除雪事業 | |
| 《議会運営委員会》 | ・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項 | | |

議会のうごき

7月

- 2日 新座市議会視察来庁 議長
8日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市） 各議員
9日 長万部町議会議員研修会（古平町・蘭越町） 各議員
24日 北海道新幹線建設促進長万部町期成会総会 議長

9月

- 11日 第3回定例会 全議員
19日 第3回定例会 全議員

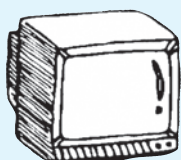
8月

- 4日 道南地区森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会（厚沢部町） 各議員
7日 八雲警察署長外来庁 議長
21日 渡島檜山議長連絡会議（木古内町） 議長



議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



この広報紙は再生紙を使っています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、議会事務局へ送付ください。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月です

傍聴には特別な手続きの必要はありませんので、お気軽にどうぞ。



7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した地震により津波警報

が出た際には、多くの皆さんが高台へ避難されました。その中で道路が混み合い、避難に時間がかかった方もいらしたことを思います。

いざという時に落ち着いて避難できるよう、日頃から「徒歩での避難」「避難経路の確認」「ご家族やご近所への声かけ」を意識していただければ安心です。

議会としても町と力を合わせ、安全な避難体制づくりに取り組んでまいります。これからも住民の皆さんと一緒に、災害への備えを進めていきたいと思います。

議会広報編集特別委員会

委員長 高森 功治

副委員長 辻 紀樹

委員 橋本 収司

委員 村川 毅